



『ぞろりぞろりとやさいがね』

ひろかわ さえこ/作 (借成社)



だいどころ 台所の片隅で、すっかり古くなつた野菜たち。月夜の晩に、「もう、がまんできない!」と、ぞろりぞろりと出かけます。さて、どこに行くのでしょうか? 食べ物を大切にしたいくなる絵本。

『なんでもおんなじ?』

コリンヌ・アヴェリス/作 スーザン・パーレイ/絵  
前田 まゆみ/訳(フレーベル館)



りすのソレルとセージは、すきな歌も、しっぽの模様も、なんでも同じ。でもある日、ソレルはふたりの違うところを知ってしまい…。はじめての友だちに、ちょっぴり不安を感じている子の背中をそっとおしてくれる絵本。

『100円たんけん』

中川 ひろたか/ぶん 岡本 よしろう/え(くもん出版)



100円あったら、なにが買える? 子どもたちにとって身近な値段「100円」で買えるものをくらべてみよう。名づけて、100円たんけん! お金のみかたがちよっと変わる、はじめてのお金絵本。

『むかしむかしとらとねこは…』

大島 英太郎/文・絵(福音館書店)



昔、虎はのろまで獲物を捕るのが下手でした。そこで虎は、猫から上手に獲物を捕る方法を教えてもらいます。猫が知っているすべての技を身につけた虎は、最後に知りたいたいことがあると言って…。虎の生態からつくられた中国の話。

『やさしいかいじゅう』

ひさまつ まゆこ/さく・え(富山房インターナショナル)



森の奥に住んでいるかいじゅうは、みんなから怖がられ、さびしくて毎日泣いていました。ある日、かいじゅうは小さな木の芽と出会い、友達になります。やがて木の芽は大きな木になって…。

『わたしのそばできいていて』

リサ・パップ/作 菊田 まりこ/訳(WAVE出版)



マディは字を読むことが苦手。国語の時間に音読をあてられてもうまく読めません。つかえるたび、まちがえるたびに、クラスの子がくすくす笑う声が聞こえて、にげだしたくなるのです。そんなとき図書館で1匹の犬と出会い…。

『さかなだってねむるんです』

伊藤 勝敏/写真 嶋田 泰子/文  
瀬能 宏/監修(ポプラ社)



からだの色を変えたり、砂にもぐったり、イソギンチャクに隠れたり、すきまにもぐりこんだり…。安心して眠るためには、作戦が大事です。魚たちがどこで、どんな風に眠っているかを、写真で紹介します。

『一さつのおくりもの』

森山 京/作 鴨下 潤/絵(講談社)



おおあめ大雨がふり続いたせいで、クマタのすむ町の山のおくりもの村が水びたしに。困っている子どもたちに何かしてあげたくて、クマタはいちばん大切にしていた絵本を贈ることにしましたが…。



『おかわりへの道』

山本 悦子/作 下平 けーすけ/絵 (PHP研究所)



りょうた先生が給食のあまったご  
はんでつくってくれるおむすび  
を、一度でいいから食べてみたい  
と思っていたかすみ。食べるのが  
遅くていつも食べられないかすみ  
は、おむすびを食べるため、作戦  
会議をはじめ…。

『しまうまのたんけん』

トビイ・ルツ/作・絵 (PHP研究所)



さばく しろ おうさま  
砂漠のお城の王様から、見つけた  
ら幸せになれると言われている  
「まぼろしのどうぶつ」のことを  
聞いたしまうまの子どもは、探検  
に出発しました。最初に発見した  
のは…?

『すずめのおくりもの』

安房 直子/作 菊池 恭子/絵 (講談社)



とても働きやさんのおとうふ屋さん  
のところに、ある朝たくさんのすず  
めがやってきて、小さいおとうふ一  
丁作ってくださいと言います。すず  
めのかわいい恩返しまで読んだとき  
には、すっかりおとうふの作り方も  
わかるようになっていきます。

『ちょっとおんぶ』

岩瀬 成子/作 北見 葉胡/絵 (講談社)



ある日、つきちゃんは地面の盛り  
あがりにつまずいて転んでしま  
いました。すると、地面の中から  
「ちえつ」と、小さい声が聞こえ  
てきて…。動物の音が聞こえる女  
の子つきちゃんのお話。

『ぼうけんはバスにのって』

いとう みく/作 山田 花菜/絵(金の星社)



2年生のタクが、高速バスに乗っ  
て、山梨のばーちゃんの家に行  
くことになった。それも、ひと  
りで! ドキドキワクワクのバス  
の旅の中、タクはうっかり寝て  
しまい…。無事に着けるかな?

『ぼく、ちきゅかんさつたい』

松本 聡美/作 ひがし ちから/絵 (出版ワークス)



トモヤはおじいちゃんと「地球観  
察隊ごっこ」をしている。まわり  
のものをしっかり観察して、発見  
したことを隊長のおじいちゃんに  
報告するのがトモヤの仕事。小さ  
な発見を分かち合うよろこびを通  
じてトモヤが成長する姿を描く。

『ペットのきんぎょがおならをしたら…?』

マイケル・ローゼン/作 トニー・ロス/絵  
ないとう ふみこ/訳 (徳間書店)



こいぬ ぼ  
子犬が欲しかったエルビーは、マ  
マが連れ帰ってきた金魚に「フワ  
フワ」という名前をつけ、芸をし  
こむことに。するとフワフワは、  
お尻から泡を出すようになって…。  
おならの芸で世界一有名になる金  
魚のゆかいな物語。

か だ ちゅう ほん  
貸し出し中の本は

よやく  
予約もできます。

くわしくは職員に

おたずねください。

